

情報公開文書

課題名 :免疫療法の副作用対策 抗核抗体測定の意義について

研究期間: 倫理委員会承認日～2026年12月31日

1. 研究の対象

2016年1月1日～2026年12月31日の期間に当院で免疫療法を受けた非小細胞肺癌の方

2. 研究目的・方法

近年のがん治療として注目されている免疫療法の副作用として、自己免疫疾患と呼ばれる膠原病のような副作用が全身に生じる可能性があることがわかっています。当院では治療開始前に潜在的な膠原病の有無を調べるべく、抗核抗体やリウマチ因子を血液検査で測定していますが、その結果によって副作用が起こりやすいのか、また治療の効果が異なるのかは今のところわかりません。

今回、これまでに免疫療法を受けられた患者さんの診療情報を元に、その関連について評価したいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢・性別等の基本情報、治療前の血液検査結果、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、生存期間 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松市中区富塚町 328 電話:053-453-7111 浜松医療センター 呼吸器内科

研究責任者: 浜松医療センター 呼吸器内科 小笠原隆